

# 森林やまがた

No.152

2014.7



## 目次

やまがた森の感謝祭2014を開催	2
山形県森林・林業功労者のご紹介	4
保安林、林地開発許可制度について	5
森林関係災害発生状況及び山地災害の危険信号について	6
映画「WOOD JOB!(ウッジョブ!)～神去りなあなあ日常～」の上映を起点とした森林・林業の普及啓発について	7
みどりのページ	
緑の募金出発式	8
NDソフトスタジアムでの緑の募金活動	8
平成26年度緑化推進事業助成金の交付決定について	9
荒廃森林緊急整備事業について	10

## 普及情報

チェーンソーメンテナンスのポイント	11
森の人紹介	
富岡正之さん・長谷川義晃さん	12
第38回全国育樹祭の準備状況	13
ポケット版「森のたんけん手帳」を作成しました	14
木造公共施設の整備と木質バイオマスボイラーの導入	15
今年もやります「おきたま森の恵み起業塾」	15
クロマツコンテナ苗木生産技術定着化事業について	16
山形県の古木・名木、公共木造施設	17
丸太価格・製材品価格の推移	18

# 「やまがた森の感謝祭2014」を開催

山形県では、六月の第一土曜日を「やまがた森の日」と定め、緑豊かな自然環境の恩恵に感謝するとともに、県民各層の参加・連携・協働による県民みんなで支える森づくりを推進するため、やまがた森の感謝祭を開催しています。今年度は、六月七日に「山形県源流の森」を会場に開催しましたので紹介します。



副知事と会場全員で「森づくりがんばろう宣言」

今年の感謝祭は、「育てよう 緑で

つなぐ 心の絆」をテーマに、森や自然を守り育て、暮らしの中で活かすことの大切さを県民の皆様にご理解いただくことを目的に開催しました。また、十月十二日（日）に金山町の「山形県遊学の森」で開催する第三十八回全国育樹祭のプレ育樹祭に位置付け、県民みんなで盛り上げるプログラムも用意しました。

オープニングアトラクションとして、地元のアルプホルンクラブの演奏や飯豊町内の幼稚園児・保育園児による飯豊町のイメージソング「めざみ」に合わせたダンスが披露され、その後、園児たちがダングリの実から育てた苗木を主催者に託し、幕を開けました。

式典では、主催者を代表して、細谷副知事が「この感謝祭が緑でつなぐ心の絆を育み、県民の皆様の森づくりの輪が大きく広がる契機となることを祈念します」と挨拶しました。

次に、森林・林業功労者表彰が行われました。地域林業や森づくり活動に貢献された、米沢市の関生産森

林組合、飯豊町の渡部岩次（わたなべいわじ）氏、東根市立東根小学校、舟形町のブナの実21に、知事感謝状が贈られました。

また、山形県CO<sub>2</sub>森林吸収量等評価認証制度による認証書が贈られました。この認証制度は、木質バイオマスの活用や森づくり活動など企業の温室効果ガス削減に対する貢献を数値化して広く普及するもので、木質バイオマスの利用部門では、十四団体、森づくり活動部門では、十九団体が認証され、代表して社会福祉法人高島伝教昭和会なかよし保育園と株式会社ウソノハウスが認証書を受け取りました。

続いて、株式会社ウソノハウスと県が締結する二期目の「やまがた森の森協定」が紹介されました。



株式会社ウソノハウスとの「やまがた森の森」協定書の披露

また、第三十八回全国育樹祭のシンボルマークの入った新リレー旗が副知事から「いいで緑の少年団」に手渡され、今年度の森づくりリレーがスタートしました。

式典の最後には、緑の少年団の子供たちや森林ボランティアリーダーと副知事が一緒に、森を育て、暮らしや産業に活かしながら森づくりの輪を広げていく「森づくりがんばろう宣言」を力強く宣言しました。



緑の少年団に託された新リレー旗

式典終了後は、主催者や来賓、受賞者、「いいで緑の少年団」が一緒に「ヤマモミジ」の記念植樹を行いました。

また、全国育樹祭の成功を祈って、式典会場を飾る木製プラントーを、緑の少年団や一般参加者の皆さんに作っていただきました。

さらに、森づくり活動では、大きく育ってほしいとの願いを込めてスギの植樹や枝打ちが行われました。



育樹祭会場を飾るプランター作り

会場内の展示・体験コーナーでは、全国育樹祭のPRパネルや、絆の森協賛企業による森づくり活動紹介パネルの展示のほか、木工クラフトやネイチャーゲーム、バウムクーヘン作りなど様々な催しが行われました。また、ご当地キャラクター愛の武将

隊やかねたん、おせんちゃん、山形DCキャンペーンキャラクターきてけるくんなどが会場内を周り、子供たちに大変好評でした。



森づくり活動でスギを植栽

このほかにも、子供たちを対象に、協賛企業のご厚意により提供いただいた景品が当たる「森の大抽選会」が行われ、大いに盛り上がりました。時折小雨の降る中での感謝祭でしたが、千人を超える多くの方々に参加いただき、森林の中で楽しい一日を満喫されたことと思います。

〔県みどり自然課〕

## 「やまがた森の感謝祭」に寄贈いただきありがとうございました

### ◆山形トヨペット株式会社

「やまがた森の感謝祭」の開催に先立ち、五月三十日に山形トヨペット株式会社の鈴木寿昭社長と緑の大使であるミス・インターナショナル日本代表の本郷李来さんが来庁され、ソメイヨシノとヤマモミジの苗木合わせて百本と森づくり活動で使用する児童用ヘルメット五十個を、知事に贈呈していただきました。

贈られた苗木は、感謝祭等で植樹しました。

また、児童用ヘルメットは、各地で行われる森づくり活動で活用させていただきます。

### □株式会社NTTドコモ

#### 東北支社

六月二日、株式会社NTTドコモ東北支社の相沢そのみ山形支店長が来庁され、感謝祭で植樹するスギの苗木購入費等として、十万円を寄附していただきました。



株式会社NTTドコモ東北支社  
相沢そのみ山形支店長



山形トヨペット株式会社 鈴木寿昭社長と  
ミス・インターナショナル日本代表 本郷李来さん

# 山形県森林・林業功労者のご紹介

## ◆はじめに

森林・林業功労者につきましては、毎年、森林・林業の振興及び緑化推進等に顕著な功績があった個人や団体を対象に、

- 一 「森林づくり」部門
  - 二 「森林保護保全」部門
  - 三 「山村・林業の振興」部門
  - 四 「木材・林産の振興」部門
  - 五 「緑化の推進」部門
  - 六 「県民参加の森づくり」部門
- の六部門を設け、感謝状を贈呈しているものです。

今年度は、一個人と三団体が選出され、六月七日（土）山形県源流の森（飯豊町）で開催された「森の感謝祭2014」において、細谷知行副知事から感謝状が贈呈されました。選出された皆様と、功績の概要は次のとおりです。

## ◆「森林づくり」部門

### 関生産森林組合

所有林（千二百十畝）の適正な維持管理に努めているほか、米沢市白布地区の生活環境保全林の維持管理や林道の管理を行うなど、地域林業

の振興に大きく貢献しています。また、森林を利活用できる「森林オーナー制度」を導入し、市民の林業に対する理解の促進に努めています。



「森林づくり」部門  
関生産森林組合 組合長 理事 岡崎 氏

## ◆「木材・林産の振興」部門

### 渡部 岩次 氏

木炭の品質の向上・統一及び生産者間の情報交換等を目的として、里山の一角にまとめて炭をつくる「炭焼き団地」を提案し、飯豊町木炭組合の組織化に尽力しました。現在は、地域内外で炭焼き体験会を通じて木炭の普及に努めているほか、研修者の受け入れ等により、後継者の育成に貢献しています。



「木材・林産の振興」部門  
渡部 岩次 氏

## ◆「緑化の推進」部門

### 東根市立東根小学校

学校敷地内にある国の特別記念物「大ケヤキ」を教育活動に取り入れ、苗木を育成し、栃木県足尾町の荒地や地域での植樹活動を行うとともに、落葉を堆肥化し地域の希望者へ提供するなど、緑化活動を展開しています。また、十月十二日に金山町で開催される第三十八回全国育樹祭



「緑化の推進」部門  
東根市立東根小学校 青柳 さん、富岡 さん

の式典で県外の緑の少年団に贈呈される苗木も育てています。

## ◆「県民参加の森づくり」部門

### ブナの実21

「癒しの里づくり」を目的に、湿原への木道設置や炭窯の再生、散策道の整備など里地里山の再生に積極的に取り組むほか、舟形町内の小学校と連携して森林環境体験学習を行っている。また、震災被災者の避難施設等で親子の絆づくり等を目的とした「森の積み木広場」の提供を行うなど被災地支援に取り組むほ



「県民参加の森づくり」部門  
ブナの実21 会長 佐藤 氏、役員 柿崎 氏

か、山形大学の自然環境学習の指導を行うなど、大学と連携した里地里山の保全と再生を推進しています。

## ◆おわりに

皆様の、今後のますますのご活躍をご期待申し上げます。

〔県林業振興課〕

# 保安林、林地開発許可制度について

## ◆はじめに

国や県では森林法に基づき、水源のかん養、災害の防備、生活環境の保全等の公益的機能の特に高い森林を「保安林」に指定し、伐採や開発行為を制限するなど、その機能が損なわれることのないように適切に管理しています。また、保安林以外の普通林の開発についても、無秩序な開発行為による森林の荒廃を防ぐため、「林地開発許可制度」により一定のルールが定められています。ここで、この二つの制度についてご紹介します。

## ◆保安林制度の概要

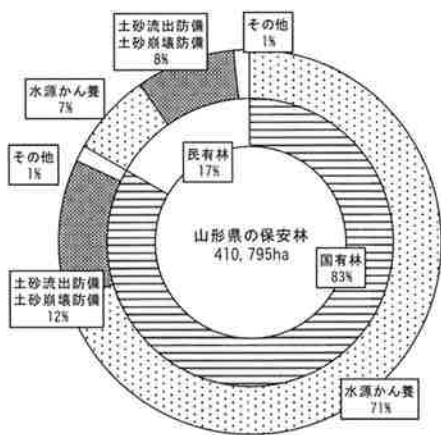
保安林の種類は目的別に十七種類あり、県内では十三種類四十一万鈔の森林が保安林に指定されています。これは県内の全森林面積の約六割に当たります。国有林、民有林別に見ると、国有林が約三十四万二千鈔、民有林が約六万八千鈔となっており、国有林が保安林の八割を占めています。

伐採や開発により森林の公益的機能が低下すると、災害等の発生が懸念されます。例えば土砂の流出量を

森林と裸地で比較した場合、森林は裸地の百五十分の一という報告があります。保安林はこのような機能の高い森林ですので、保安林に指定されると伐採や開発行為の制限を受けます。主な行為制限の内容は次のとおりです。

- ① 立木の伐採の方法及び限度、伐採跡地への植栽の方法（指定施業要件）が定められます。
  - ② 保安林内で立木の伐採や土地の形質を変更する行為を行う場合は、知事の許可が必要です。
  - ③ 保安林の他の用途への転用は道路建設等の「公益上の理由」又は保安林の消滅等の「指定理由の消滅」の時に限られます。
- これらの制限は保安林としての機能を維持するためのものであり、①の指定施業要件の範囲内であれば伐採等が可能です。

また、保安林に指定されても森林の売買に制限はありませんが、平成二十四年の森林法改正により、保安林に限らず新たに森林の所有者になった場合、市町村長への届出が必要となりました。



## ◆林地開発許可制度の概要

保安林以外の普通林においても、土石の採掘や林地以外への転用など一鈔を超える開発行為を行う場合には知事の許可が必要です。対象となる森林は知事が樹立した地域森林計画の対象となる民有林で、保安林と国有林を除くほとんどの森林が該当します。現在県内では、百二十二件の林地開発行為が行われており、うち土石の採取が百六件と大半を占めています。

また、一鈔以下の小規模な開発行為を行う場合には、許可は必要ありませんが、森林開発の実態を把握するため、開発行為者に「小規模林地開発計画書」の提出をお願いしています。

## ◆今後の課題

平成二十五年度より「山形県水源保全条例」が施行され、「水源源保全地域」が指定されるなど、水源地の保全が重要な課題となっています。また、再生可能エネルギー活用の機運の高まりから、森林内での発電施設の設置の動きも出てきました。

県としては、森林所有者の同意を得ながら、水源地等の重要な森林を保安林に指定するとともに、制度に沿った開発行為が行われるよう指導を行ってまいります。保安林、林地開発許可制度についてのご相談は最寄の総合支庁森林整備課にお問い合わせください。

〔県林業振興課〕

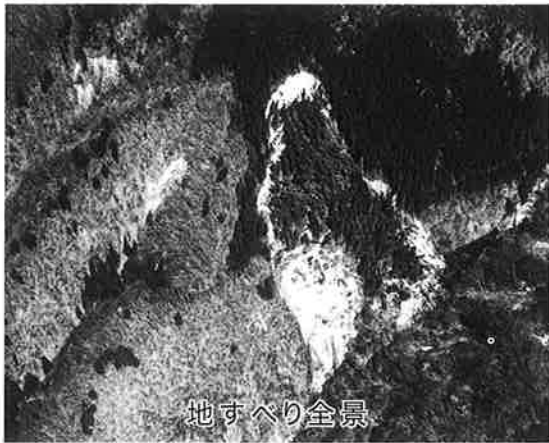


庄内海岸の飛砂防備保安林(遊佐町)

# 森林関係災害発生状況及び山地災害の危険信号について

## ◆はじめに

全国的に見て比較的災害の少ない本県ですが、平成二十五年は、七月の記録的な大雨により、森林関係で二十五市町村において、二十億円を超える被害が発生しました。特に白鷹町、西川町、大江町、南陽市、村山市などで被害が甚大となりました。（被害の詳細は一五〇号参照）。また、農林水産関係の被害総額は七十九億円に上り大雨による被害としては昭和六十一年以降最大となりました。被災箇所については、昨年度から順次、復旧工事を実施しています。



地すべり全景

## ◆平成二十六年融雪災害

今年の融雪による災害は大江町での地すべり災害一箇所となっており、その概要は次のとおりです。四月十八日に大江町大字貫見地内の山腹で幅百m、長さ二百五十mにわたる地すべりが発生しました。崩落した土砂は倒木とともに沢を塞いで、ダムアップしており、その後の降雨等により閉塞土砂が決壊し、土



ダムアップの状況

石流の発生が危惧される非常に危険な状況です。

県では、応急工事として五月連休明けに、農道のヒューム管の閉塞防止のため応急工事として、県単独事業で簡易谷止工を設置するとともに、一級河川月布川への土砂の流入防止等のため、災害関連緊急地すべり防止事業の採択に向け、六月現在、林野庁と協議中です。また、事業費決定後速やかに工事に着手し、地域の安全を確保してまいります。

## ◆山地災害の危険信号

災害はいつ何時起こるか分かりません。ここでは、皆様方もすでにご存知かと思いますが、もう一度、山地災害の危険信号を確認してみましよう。

山地災害が起こる多くの場合、山の斜面や川のごり具合などをよく観察してみると、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。○川にごり、木の枝などが混ざりはじめた。

### ●上流で山くずれが発生？

○雨が降り続けているのに川の水位が下がった。

### ●山くずれにより川（沢）をせき止め氾濫の危険がある。

○山の木が傾いたり斜面に亀裂が走った。

山の斜面から石が転がり落ちてきた。

### ●地すべりや山くずれの前ぶれ？

○普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた。

### ●上流の沢の山くずれが原因？

○地鳴りの音が聞こえてきた。

### ●山くずれ発生のサイン？

※山地災害防止PR用パンフレット引用（日本治山治水協会発行）

などの危険信号があります。中でも川のごりなどは比較的容易に見ることが出来ますので、注意して観察してみたいかがでしょう。

## ◆おわりに

今年例年に比べ梅雨入りが早くその分、降雨期が長くなることが予想されます。また、近年七、八月に集中豪雨が頻発に発生しており、山地災害の発生が危惧される場所です。万が一、災害が発生した場合には、スピード感を持って復旧対策に取り組んでまいりますので、皆様方の御協力のほどよろしくお願いいたします。

〔県林業振興課〕

# 映画「WOODJOB! (ウッジョブ!)」 の上映を起点とした森林・林業の普及啓発について

## ◆はじめに

林業をテーマにした映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!)」が五月十日から上映されています。この映画は、林業研修プログラムに参加することになった青年が、まわりの人々に支えられ、林業に携わりながら、山村での生活を通して成長する物語を描いています。県では、この秋に金山町で開催される第三十八回全国育樹祭に向けた森づくり気運の醸成と「やまがた森林ノミクス」による林業の振興を図るため、この映画の上映を起点として、林業や森づくりのPR活動に取り組んでいくこととしていきますので、その取り組みについて紹介します。

## ◆映画館でのパネル展示、緑化木、木工品のプレゼント

映画上映初日となった五月十日、県内の六つの映画館での同時イベントとして、緑化木、木工品のプレゼントを行ったほか、ムービーオンやまがたでは、映画に登場するチェーンソーを使った記念撮影所や木々から



抽出したアロマオイルを楽しむコーナーを設置し、多くの親子連れで賑わいました。また、約一カ月かけて県内の映画館を巡回したパネル展示では、多くの方が足を止め、林業に興味を持ってご覧いただきました。

## ◆「源流の森」で林業体験会を開催

六月十五日に飯豊町須郷地区の「源流の森」にて、約二十名の方からご参加いただき、間伐、下刈などの林業体験や間伐材を利用した木工クラブ、源流の森周辺で採れた山菜を使った「森の恵み・山菜汁」の試食を行いました。映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!)」が、さながらの林業家による迫力ある間伐のデモンストレーションも行われ、普段は見学できない林業の現場とその迫力に、参加者からは、長い時間と多くの手間をかけて森林を育てることと、木を使うことは、実はつながっていて、一日を通して楽しみながら森の魅力を体験できたという、うれしい感想をいただきました。



## ◆今後の普及啓発スケジュール

時期	項目	内容
6月～9月	山形の林業&みどり環境税PRキャラバン	○ショッピングモールなど、県内各地で普及啓発活動を実施
7月下旬	夏休み親子森林探検の旅	○親子で森林の不思議を学ぶ森林環境学習
6月～9月	ウッジョブ体感会	○高校での林業研修 ・刈払機の基本操作と刈払い実習 ・チェーンソーの基本操作と間伐体験実習 等
10/11	育林交流集会（併催行事）	○飯豊町町民総合センター「あーす」 県内外約500名参加
10/12	第38回全国育樹祭	○「遊学の森」 県内外約5,000名参加
10/12、13	森林・林業・環境機械展示実演会（記念行事）	○「新庄中核工業団地」 県内外約7,000名参加
10/25、26	山形県林業まつり	○森林・林業のPR、木材、林産物の利用促進PR
10月下旬	きのこ等の保存の知恵講習	○暮らしとつなげる森林の恵みを保存する技術と先人の知恵を学ぶ講習会 ・対象者 県内の高校生 約30人

## ◆おわりに

県では、映画終了後も、さまざまな機会をとらえ、多くの関係者と連携し、森林・林業の普及啓発に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよりしく願います。

〔県林業振興課〕